

1. 研究動機

郡上八幡では雛祭りの季節に、使わなくなった雛人形を持ち寄って展示する「寄席雛」の文化があり、私自身雛人形が好きで、たくさんの人に雛人形の魅力を知って欲しいと思い、自分なりの雛人形を作ることになりました。

2. 研究内容

まず初めに雛祭りの起源や歴史、種類について調べました。見た目が華やかでコンパクトに飾ることができる「五人飾り」と様々な人形を吊るして飾る「つるしびな」を作ることになりました。



《五人飾りの製作》

①頭の部分を作ります。
丸い形に切ったちりめんを頭の形に縫い綿を入れます。そして縫い絞った糸にワイヤーをかけます。

②胴上と胴下を縫い合わせ、厚紙を重ねて頭を差し込み、胴を輪に閉じます。

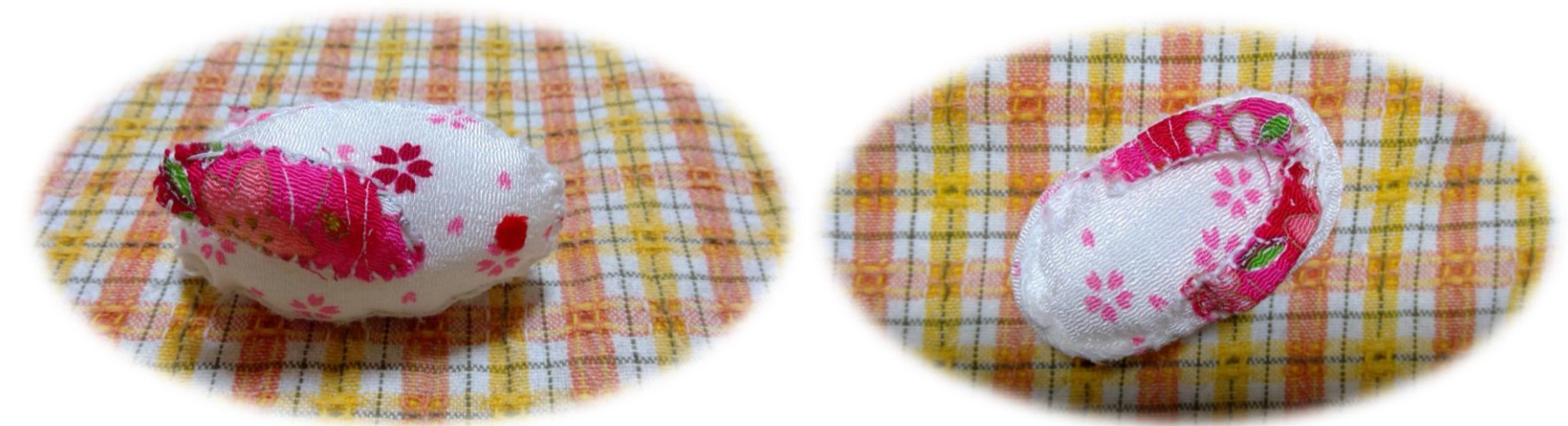
③着物の部分を作ります。ちりめんを着物の形に切り、2つのちりめンを縫い合わせます。

④襟の部分を作り、着物を着せたら完成です。

《つるし雛の製作》

つるし雛は吊るされているものにそれぞれ意味が込められていることが特徴なので、郡上に関わりのあるものを作ろうと考えました。

＜それぞれに込められた意味＞



うさぎ…赤い目のうさぎは病気を退治する力がある

ミニ下駄…
・「足が立つ」ということで子供がすくすく育つように。
・玄関に飾ると人の出入りがよくなることから「商売繁盛、良縁等、賑やかな家になる」
・お手洗いに飾ると「いつまでも丈夫に歩ける、足への病気が癒される」

※製作した雛人形は学校の図書館に展示させていただく予定です。

3. まとめ

雛人形の製作を通して雛人形の魅力を知ることができ、それを色々な人に伝えるための工夫をすることができました。雛祭りはとても歴史のある文化なので、更に沢山のの人に魅力を知って欲しいと思っています。